

「 KHAN 」 披露式典及びシンポジウム報告

神戸大学総合情報処理センター
業務掛長 大伴 登

平成 6 年 10 月 3 日（月）、神戸大学情報ネットワークシステム「 KHAN 」の披露式典及びシンポジウム「情報ネットワークの新たなる展開－KHAN の夜明けと情報発信－」*が神戸大学瀧川記念学術交流会館を主会場として開催されました。

「 KHAN 」は、平成 5 年度の第一次補正予算で整備されたもので、平成 6 年 3 月末に設置後、情報ネットワーク運用委員会・総合情報処理センター・各部局ネットワーク運営委員会等の努力により実用化に向けて調整の結果、平成 6 年 9 月から一般運用を開始したもので、本学の情報発信の核であり、今後は近隣大学のみならず地域行政や民間研究所等も含んだ幅広い地域ネットワークを構成していく核となるものです。ただ、この「 KHAN 」が今後発展し、重要な位置付けとなるためには、神戸大学の構成員のみならず、神戸大学を取り巻くさまざまな環境の方々にも広く知っていただき、大いに活用してもらう必要があります。このために、神戸大学情報ネットワークシステム委員会と総合情報処理センターが共催して披露式典及びシンポジウムを開催することとなったものです。

「 KHAN 」にはいくつかの特徴があります。その中で、最も注目されるものとしては、非同期転送モード（ATM）を導入した高速基幹 LAN、別棟の建物を結ぶ無線 LAN、支線 LAN の中に設けられた情報コンセント教室等です。ATM は、大阪大学など他大学でもいくつか導入されていますが、部局と部局を直接接続する方式で複数部局に設置したものとしては、全国大学の中でも本学が最先端といえます。

披露式典には文部省国際情報局学術情報課長をはじめ、来賓 20 名、総勢 90 名の参加があり、盛大に執り行われました。式典も情報ネットワークの披露にふさわしい企画があり、学術国際局長祝辞（学術情報課長代読）の後、学術情報センター所長からの祝辞は、これも平成 5 年度の補正予算で増強された学術情報ネットワーク SINET を利用した画像通信により東京の学術情報センターから披露式典会場まで直接送信されました。このような式典での利用は画期的なことで、今後のネットワーク発展を大いに予感させるものとなりました。

また、披露式典に先立ち開催されたシンポジウムは平成 6 年 1 月に開催されたシンポジウムに続くもので、学内・県内にとどまらず、近県からも多数の参加者があり、総勢は 174 名にもなりました。午前中は山梨大学情報処理センター長、神戸市企画調整局調査課長、神戸大学総合情報処理センター上原副センター長の 3 氏から基調講演、午後からは NTT 関西支社副支社長からの特別講演があり、それぞれ、最先端の機器を利用した多様な内容で、参加者全員熱心に関き入っていました。このシンポジウムについては、今後定期的に開催していく計画です。

シンポジウムの講演会と披露式典の間に行われた「見学会」では、会場となった総合情報処

*次ページに披露式典及び祝賀会のプログラムを掲載しています。

理センター・自然科学系図書館・工学部システム工学棟・工学部本館等に多数集まり、ネットワークを利用したテレビ会議、ネットワークを通じて神戸大学を紹介する「MOSAIC」などの情報、通信サービス等を実際に試みるなど、約2時間の見学時間が短か過ぎる程盛況でした。

神戸大学「KHAN」披露式典

式次第

	(進行：総合情報処理センター副センター長	上原 邦昭)
一 開催挨拶	情報ネットワークシステム委員会委員長	高森 年
一 学長挨拶	神戸大学長	鈴木 正裕
一 祝 辞	文部省学術国際局長 (学術情報課長) 学術情報センター長	木島 令己 猪瀬 博
一 経過報告	工学部情報知能工学科教授	田中 克己
一 感謝状贈呈	富士通株式会社 株式会社きんでん	

祝賀会次第

	(進行：情報ネットワーク運用委員会委員長	蛭名 邦禎)
一 開 会	情報ネットワーク運用委員会委員長	蛭名 邦禎
一 挨 拶	副 学 長	多淵 敏樹
一 来賓挨拶	京都大学大型計算機センター長	長谷川 利治
一 乾 杯	事 務 局 長	高橋 一之
一 閉 会	総合情報処理センター長	高森 年